

平成 29 年度

長寿社会部

重点施策・事業の進捗状況

(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施

目標	適切な生活支援と介護予防を一体的に提供することで、高齢者が住み慣れた地域で安心して生き生きと生活できる環境づくりを進めます。
取り組み	要支援認定者など軽度の高齢者の心身の機能を引き上げ、要介護への移行を防止するため、リハビリテーション専門職等を活用した市独自の生活支援サービスを開始します。また、地域にご協力をお願いし、身近な場所での介護予防拠点の整備や、介護予防ポイント事業の拡充など、高齢者の社会参加を促進し支える体制づくりに取り組みます。
	平成 29 年度当初予算：811,567 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

要支援認定高齢者を対象とした市独自介護予防・生活支援サービスを開始し、適切なケアマネジメントにより徐々に普及を図っている。また、高齢者が安心して生き生きと暮らせる地域づくりを進めている。

(2) 認知症施策の推進

目標	認知症高齢者が地域の中で尊厳を持ち、できる限り自立した生活を送ることができるよう、認知症に対する正しい知識を普及するとともに、ニーズに沿った支援と権利擁護の取り組みを進めます。
取り組み	認知症サポーターの養成を継続し、認知症への理解を深めるとともに、認知症初期集中支援チームの活用、認知症カフェへの支援等の施策を実施します。また、市民後見制度の整備等を通して、権利擁護の取り組みを拡充します。
	平成 29 年度当初予算：13,855 千円

9 月末の
進捗状況
【○】

認知症への理解を深めるための取り組みを継続するとともに、初期集中支援チームの活用を図っている。また、昨年度に引き続き、市民後見人の養成を進めている。

(3) 在宅医療・介護連携の推進

目標	高齢化の進行に伴い、慢性的な疾病を抱えた高齢者の増加が見込まれます。医療と介護の円滑な相互連携を図り、高齢者が安心して在宅生活を送ることができる環境整備をめざします。
----	-------------------------------------------------------------------------------------

取 組 み	医療・介護の関係者で構成する「地域ケア推進実務者連絡協議会」等の連携体制を活用しながら、多職種連携の研修など相互理解の取り組みを進めていきます。また、それぞれの地域の特性を勘案しつつ、医療・介護関係者、地域住民、行政機関等で構成する地域ケア会議を開催し、地域の課題に対応していきます。
	平成 29 年度当初予算：4,545 千円

9 月末の 進捗状況 【○】	地域ケア推進実務者連絡協議会や地域ケア会議の開催等を通して、医療・介護を要する高齢者の在宅生活を支えるためのネットワーク構築に継続的に取り組んでいる。
----------------------	-----------------------------------------------------------------------------